

かわせみ(日高市の鳥)

April 2014

28号

<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html>

# 埼玉医科大学

# 国際医療センターニュース

## SAITAMA INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS

### CONTENTS

- 2P 診療科で紹介：救命救急科  
：心臓リハビリテーション科
- 4P 「ありがとうメッセージ」をいただいて  
：看護部
- 5P お薬の豆知識：薬剤部
- 6P 血管造影検査と被ばく低減への取り組み  
：中央放射線部
- 7P 血管エコー検査について：中央検査部
- 8P 食べ物の旬について：栄養部
- 9P 70歳を迎える方々へお知らせです  
：総合相談センター・がん相談支援センター
- 10P 皆様からの声：医務課
- 11P 第3回国際医療センター市民公開講座  
高血圧をまなぶ：市民公開講座実行委員会
- 12P 「笑顔であいさつ」キャンペーンの集計結果です。  
：診療サービス委員会
- 13P 私の時間：私の趣味、音楽とスポーツ  
：趣味と実益
- 14P 次回の国際医療センター市民公開講座について  
(お知らせ)：市民公開講座実行委員会



●「春爛漫（坂戸市北浅羽桜堤公園の寒桜とスイセン）」

**基本理念：**患者中心主義のもと安心で安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

**使命：**当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

**基本方針：**上記の理念に従って患者中心主義(patient-oriented)を貫き、あらゆる面で”患者さんにとって便利”であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供致します。

**患者さんの権利：**当センターは、全ての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。  
(1)ひとりひとりが大切にされる権利 (2)安心で質の高い医療を受ける権利 (3)ご自身の希望を述べる権利  
(4)納得できるまで説明を聞く権利 (5)医療内容をご自身で決める権利 (6)プライバシーが守られる権利

Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS

“地域救急医療の最後の砦”

診療科長 根本 学教授

埼玉医科大学国際医療センターは2007年4月に開院し、2008年には埼玉県で7番目の救命救急センター認定を受けました。開院から2013年12月までの7年間に受け入れた患者数は31,391人で、救急患者に占める重症患者の割合は年々増加し、埼玉県内全域だけでなく、近隣都県からの救急搬送も積極的に受け入れ、地域救急医療の“最後の砦”として応分の役割を担わせて頂いております(図1,2)。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災では災害医療チームであるDMATを派遣し、災害拠点病院として貴重な経験をさせて頂きました(図3)。

救命救急科は、救急隊からの受け入れ要請(ホットライン)に対応し、他の診療科と連携して手術や集中治療にも取り組み、教育面では、地域救急医療機関や消防・警察機関に対して救急・災害医療に関

する標準化教育を実施しています。

更に、2013年からは埼玉県トラック協会様のご寄付でドクターカー(rapid response car)を導入しました(写真1)。これは、医師を救急現場に派遣するための緊急即応車両で、ヨーロッパではドクターヘリコプター同様、救急医療システムに取り入れられているものです。

現在は埼玉西部消防局と連携し、重症外傷や多数傷病者発生事故で出動する体制ですが、将来的にはもっと幅広く対応し、救急患者を受け入れるだけでなく、救命救急科の医師がドクターカーで直接現場に駆けつける“攻めの救急医療”を展開していく考えですので、地域住民の皆様のご理解ご支援を賜りますようお願いいたします。

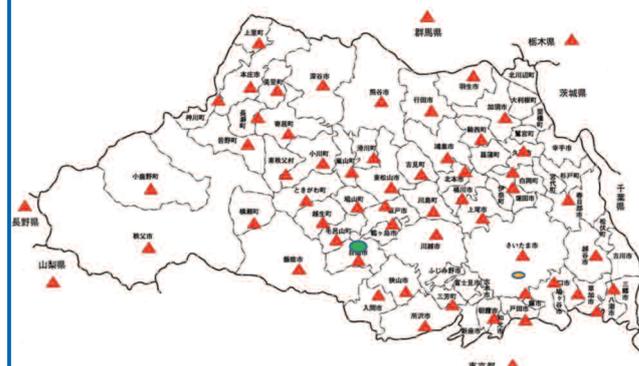
図1 患者総数と重症度分類の推移

(2007年4月~2013年12月 n=31,391)



- 初期：入院の必要がない軽傷
- 二次：入院が必要な中等症
- 三次：重症重篤、あるいは高度専門治療が必要

図2 救急搬送分布図



- ▲ 搬送地域
- 埼玉医大国際医療センター
- 県庁所在地

図3 宮古病院でのDMAT活動

- ※ 医師、看護師
  - ・ 搬入患者のトリアージ
  - ・ 赤、黄トリアージ患者の処置
  - ・ 域内搬送、域外搬送の付き添い
  - ・ 宮古病院医師の支援(通常外来患者の処方等)
- ※ 調整員
  - ・ 地元消防との折衝
  - ・ 転院搬送
  - ・ 搬入患者の情報提供



写真1 ドクターカー

(Rapid response car : 緊急即応車両)



## 診療科のご紹介

### 入院中から退院後までの切れ目ないリハビリ

## 心臓リハビリテーション科

診療科長 牧田 茂教授

心臓リハビリテーション科は、平成20年4月埼玉医科大学国際医療センターにおいて、全国の大学関連の医療施設で初めて、心臓リハビリテーションを専門的に行う診療科として認められました。国際医療センターにはその他に、脳卒中や脳腫瘍のリハビリを対象とする運動・呼吸器リハビリテーション科（高橋秀寿教授）がありますが、共にリハビリ部門として、日々協力して診療に当たっています。

#### <心臓リハビリテーションとは>

心臓リハビリは、動脈硬化性疾患の再発予防（二次予防）や再入院予防、ならびにQOL（生活の質）や生命予後の改善を目的としています。したがって、治療後の早期離床を図ることは重要な点ですが、歩行能力が確保され、ADL（日常生活活動）が自立し、仕事に復帰しただけでは心臓リハビリの目的を達成したとはいえません。再発予防に向けた、運動療法、食事療法を含めた生活習慣の改善が最も重要になります。そのために、患者指導と運動療法を入院中から開始し、退院した患者さんには、回復期の外来通院心臓リハビリを行っていただくことを勧めています。

当科には、心臓リハビリ専属の理学療法士、作業療法士ならびに言語聴覚士が配置されています。また、患者指導は専従の看護師、運動負荷試験は専従の臨床検査技師が担当しており（写真1）、多職者が介入する包括的心臓リハビリが実践されています。さらに、維持期の運動療法を希望される患者さんには、太極拳や卓球といったスポーツ種目をを用いた集団スポーツリハビリも行っています。急性期から回復期・維持期にわたって、切れ目のない心臓リハビリが行われているのが当科の大きな特徴となっています。（写真2）



写真1 運動負荷試験（心臓移植患者さん）



写真2 自転車こぎとトレッドミル歩行による運動療法

#### <心臓リハビリテーションの対象疾患>

心臓リハビリは、虚血性心疾患を代表とする狭心症や心筋梗塞の患者さん、冠動脈バイパス術、弁膜症の心臓手術を受けた患者さんのリハビリを対象としています。近年では心不全、大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症といった疾患も対象となり、さらに当院の特長として、補助人工心臓を植え込んだ重症心不全患者さんのリハビリも行っています。

又、当科では、循環器疾患だけでなく、救命救急疾患（多発外傷、熱傷、呼吸不全等）、ならびにがんのリハビリも担当しています。

#### <救命救急疾患のリハビリテーション>

呼吸不全の患者さんには、呼吸リハビリの早期介入を、救命救急担当医の指導の下で行っています。さらに、骨折を含む多発外傷の患者さんには、術後の早期リハビリを集中的に行い、退院後の外来リハビリに移行しています。

#### <がんのリハビリテーション>

肺がん、消化器がんの周術期リハビリを積極的に進めています。呼吸法の指導と術前後に運動負荷試験を行い、運動能力を評価し、患者指導に役立てています。又、血液がんでは、造血幹細胞移植の患者さんに体力低下を最小限に止める予防的リハビリも行っています。さらに、頭頸部腫瘍、骨軟部腫瘍、乳がんに対しても、主診療科と協力してリハビリを積極的に導入し、チーム医療を実践しています。



写真3 心臓リハビリテーション科スタッフの一同

## ～『ありがとうメッセージ』をいただいて～

看護部

### 患者さんの笑顔が私たちのパワーの源です！

E棟5階病棟 市川 洋子

平成19年に国際医療センターが開院して以来、患者さんから多くのご意見を頂いてまいりました。それは、当センターを思っただけのご意見も多数ありましたが、ねぎらいのお言葉も又、たくさん頂戴することができました。

そこで平成22年度より、新たに『ありがとうメッセージ』という用紙を院内各所に配置し、投函ボックスを設けさせて頂きました。それによって、ご意見や、ご要望とは違った、患者さんやご家族の不安な思いや心配していることなど、直接お話し難いことも多く伝わるようになったと思います。また、改めてねぎらいの言葉を頂くことは、何よりスタッフの励みとなります。

おかげさまで、E棟5階病棟は『ありがとうメッセージ』開始後、メッセージの数が最も多い部署として毎年表彰して頂いております。中にはスタッフが名指しでねぎらわれることもあり、名前を覚えて下さったことや「ありがとう」と言っただけは、私たちにとって何よりの励みであり、毎週届くメッセージに顔をほこ

ろばせながら“今日も頑張ろう”と笑顔で病室にかうことができます。(写真1)

E棟5階病棟は、婦人科腫瘍科(写真2)と乳腺腫瘍科(写真3)が主な診療科となっています。女性の方が多い病棟で毎日患者さんと接しながら、改めて女性の強さを実感したり、ご家族への思いやご家族のきずなを感じたりしています。

私たちは常に患者さんやご家族の身になって考え、患者さんが安心して入院生活を送り治療に専念できるよう、面会に来たご家族が安心して帰れるよう、お手伝いさせて行きたいと考えております。医師や薬剤師、関連スタッフとディスカッションしながら、患者さんにとって一番良い方法を提示できるよう検討を重ねています。

入退院が激しく、日々バタバタしていますが、少しでも患者さんやご家族とお話しできたらと思っているスタッフばかりです。どんなことでも遠慮なくお話し下さい。それが私たちのパワーの源です。



写真1 病棟…今年も表彰状を頂きました。私たちも患者さんやご家族から元気をいただいています!!

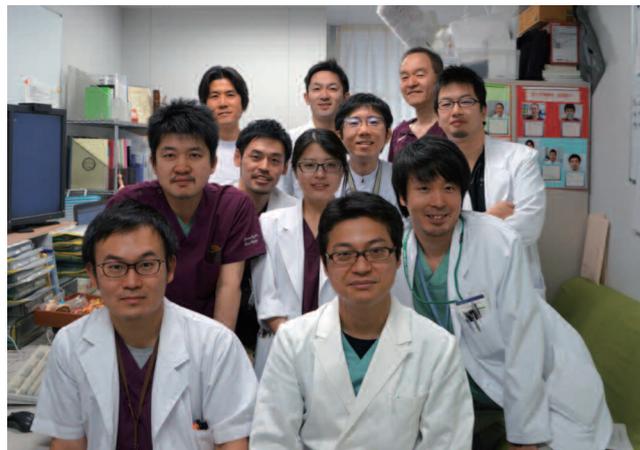
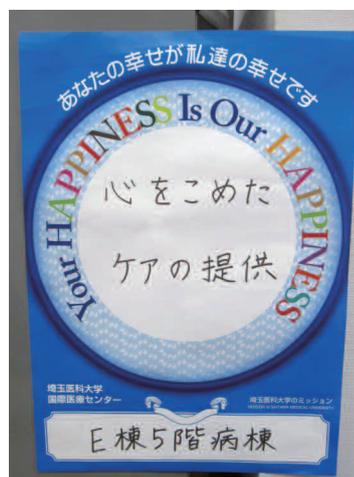


写真2 婦人科腫瘍科…手術、化学療法、疼痛コントロールなどオールマイティーです!



写真3 乳腺腫瘍科…乳腺腫瘍科の医師たちです。乳房再建も含め、術後の整容性にもこだわりがあります!



メッセージ…病棟のミッションです!

花粉症のつらい季節がやってきました。現在、日本人の2~3割が花粉症にかかり、国民病といわれるほど年々増加しています。朗報ですが環境省による予測では、今春のスギ・ヒノキの花粉の飛散量は例年に比べ全国的に少なくなるとされています。たとえ例年より少なくても注意が必要な飛散量ですので、十分な予防対策をしておきたいところです。今回は花粉症によるアレルギー症状の予防対策や治療に使うお薬についてお話しします。



【花粉の飛散時期と主な症状】

日本では花粉症の原因の約8割がスギ花粉といわれていますが、その他にヒノキやブタクサなどもあり、花粉の多い時期もそれぞれ変わります。専門の医療機関で調べることもできますので、自分の原因となる花粉の種類を知っておくと予防対策がとりやすくなるでしょう。

主な症状はくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみです。中でも鼻づまりは自覚症状がされにくいいため、見逃されやすい症状です。鼻づまりがひどくなると、口呼吸になり口が渇いたり、においや味がわかりづらくなります。また不眠にもつながります

【治療法】

花粉が飛び始める直前や、花粉症の症状が出始めたごく初期に治療を開始すると鼻粘膜の炎症の進行を止め、早く軽快させることができ、花粉症が重症化することを防ぐことができます。

花粉症の治療には、薬物療法(経口薬、点鼻薬、点眼薬)、手術治療、アレルギー免疫療法(減感作療法)があります。最近は眠気や集中力の低下、口渇などの副作用が少なくなった経口薬や、局所にとどまる

点鼻薬・点眼薬などの外用薬がよく用いられます。症状の度合いによって使う薬剤がガイドラインで決まっていますが、中には緑内障を悪化させてしまうようなステロイド薬が処方されることもあります。国際医療センターには専門外来がございませんので、アレルギー専門外来または眼科、耳鼻科がある医療機関にご相談、受診することをお勧めします。

花粉名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハンノキ属												
スギ												
ヒノキ												
イネ科												
ブタクサ属												
ヨモギ属												
カナムグラ												

少量
  やや多量
  多量

【花粉症の原因となる主な花粉の飛散時期】

【予防対策】

- ・ 花粉情報のチェック  
(環境省花粉症情報サイト、気象庁など)
- ・ 外出時にマスクやメガネを着用
- ・ 花粉が付着しにくい服装(静電気防止)
- ・ 帰宅時の手洗い、うがい、洗顔
- ・ 布団や洗濯物の外干しの回避
- ・ 換気口(窓・ドア)を閉めましょう

以前は病院でしか扱われていなかった薬が市販薬に切り替わったものもあり、その種類も徐々に増えてきています。軽い症状であれば、市販薬で対応することも十分可能ですが、花粉症の症状は様々です。症状が抑えられない時には、早めに医療機関で診察を受けたり、お近くの薬剤師にご相談するよう

にしてください。

## 〈血管造影検査とは？〉

血管造影検査法（アンギオグラフィー）は、血管内に造影剤を注入し、その流れをエックス線で撮影することによって、血管そのものの形状などを観察する方法です。略して「アンギオ」と呼ばれることもあります。



図1 血管造影装置

一般的には、手首、肘、鼠径部の血管が用いられ、自由に血管内にカテーテルを出し入れできるようにするために、足や腕の太い血管にまずシースと呼ばれるものを留置します。

そして、シースからガイドワイヤーと呼ばれる柔らかい金属のワイヤーなどをガイドにし、撮影したい血管にカテーテルを進め造影剤を注入し、血管の様子などを撮影します。

この血管造影検査法の手技は治療にも用いられるようになり、目的の血管の内部から行う治療はインターベンショナル・ラジオロジー（IVR）と呼ばれています。IVRにより一部の病気では、これまで外科手術に頼るしかなかった治療が、身体にメスを入れることなく実施できるようになり、血管内に挿入したカテーテルを操作して、動脈硬化などで狭くなった血管を広げたり（血管形成）、コイルを詰めて血管が破れる恐れのある動脈瘤に血液が流れ込まないようにしたり、がん組織に栄養を与える血管の血液を遮断する（血管塞栓術）といった治療を行います。また、抗がん剤や血栓（血液のかたまり）を溶かす薬を、動脈から直接患部に注入することもできます。この治療技術は、急速に進歩しており、動脈瘤、動静脈奇形、心筋梗塞、肝臓がんなどは、IVRによる治療も可能になっています。

## 〈被ばく低減への取り組み〉

IVRは、患者さんへの身体的な負担が少ない「低侵襲性」に利点がある一方、胸部レントゲン撮影やCT撮影の数百～数千倍という量の放射線被ばくを伴うことにより、まれに一部の患者さんに放射線による影響などが生じることがあります。そこで、放射線診療を実施することによって得られる健康状態の改善などの利益と、被ばくによる損失とを比較し、損失より利益が大きいことの確認（医療被ばくの正当化）及び、被ばく線量を、放射線診療の価値を損なわない範囲内で最小限（医療被ばくの最適化）にすることで放射線診療をおこなっています。

患者さんが安心して放射線診療を受けることができるよう被ばく線量を把握するとともに、被ばく低減のための有効な対策を講じて線量を抑制しています。そのためには、IVRにおける放射線による影響などを発生させにくい施設環境を整え、使用している装置がどのように制御されているかを理解し、その最適化と安定性の維持に務める必要があるため、私たち中央放射線部では“被ばく線量低減推進施設認定”を取得し被ばくの低減及び、装置の管理に日々努めています。

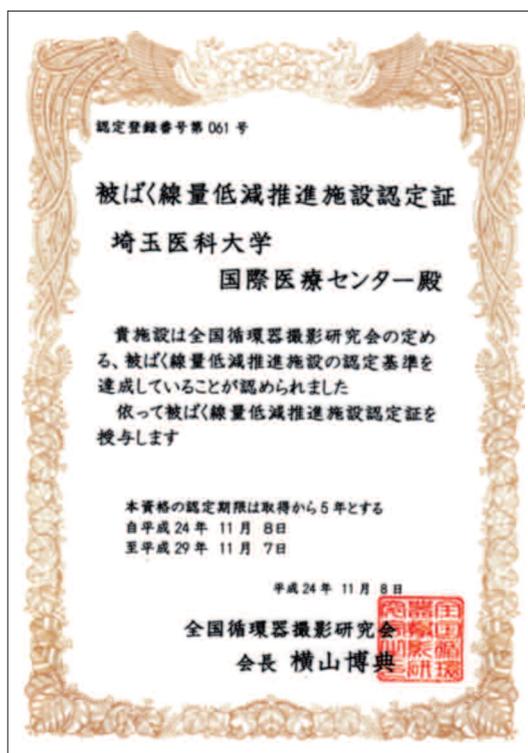


図2 被ばく線量低減推進施設認定証

## 血管エコー検査について

中央検査部

身体にやさしい検査です。

主任 山本 哲也

食生活の欧米化に伴い血管疾患は増加しています。血管病変の画像診断法はエコーやCT、MRI、血管造影検査等、いずれも有効性の高い検査として実施されています。特に血管エコー検査は無侵襲で気軽に実施できるため、最初に受けて頂く検査とされています。

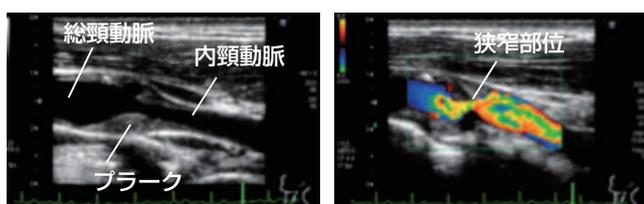
### 〈血管エコー検査の種類〉

当院では下記に示すように、全身の血管エコー検査を実施しています。

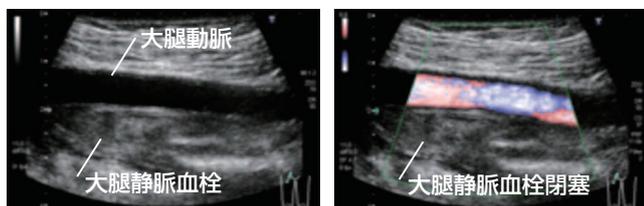
- ・頸動脈エコー・大動脈エコー・腎動脈エコー
- ・透析シャント（バスキュラーアクセス）
- ・上肢動脈エコー ・上肢静脈エコー
- ・腹部、下肢動脈エコー ・腹部、下肢静脈エコー

### 〈何がわかるの？〉

動脈硬化を起こすと血管壁が厚くなったり、硬くなったり、血管が瘤状に拡大することがあります。進展すると狭窄や閉塞、時には破裂をきたすこともあります。また静脈には血栓や逆流が見られることもあります。エコー検査ではこれらの病気の状態が詳細にわかります。そのため治療の効果判定や経過観察、手術前後などに必須な検査です。



内頸動脈狭窄症

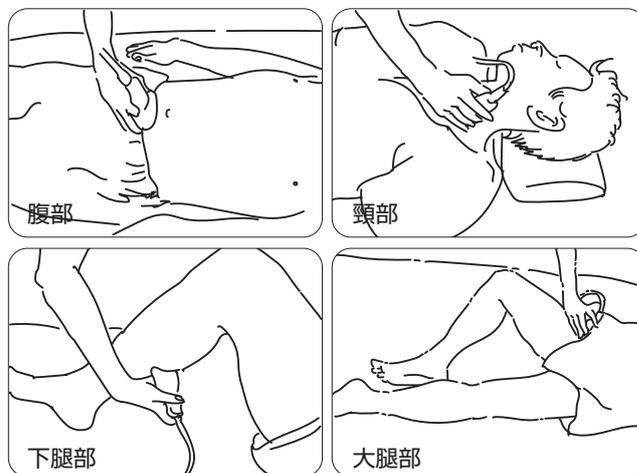


深部静脈血栓症

### 〈どのように検査するの？〉

人間の耳には聞こえない高い周波数の音を“超音波”と言います。この超音波を利用して、機械を体に当て画像を描出するのがエコー検査です。検査時、体と機械の間に空気が入らないように、観察部位の体表面にエコーゼリーを塗布し機械を滑らせる

ように走査します。また、画像を見やすくするために薄暗い部屋で検査を実施します。



各部位における観察方法

### 〈検査時間と準備〉

検査時間は検査の部位や内容で異なりますが、一領域15～30分程度必要です。検査当日は食事や薬等の制限はなく、普段と同じに生活していただいて大丈夫です。但し検査部位によっては脱衣が必要となりますので、脱ぎやすい服装でお越し下さい。なおタオルやバスタオルをご用意しております。

### 〈お願い〉

細い血管を観察しますので、体を動かされると目的の血管を見失い、検査時間が長くなってしまいます。検査時、なるべく動かないようにご協力をお願い致します。また、私たち検査技師は検査結果を患者様に伝えることは法律上、許されておりません。少しでも早く安心させてあげたいと思いますが、検査結果は担当医師からの説明となりますのでご了承ください。

### コーヒーブレイク

血管エコー検査は東日本大震災における避難者への巡回医療支援活動でも活躍。携帯型の小型超音波機器を用いて深部静脈血栓症を検索し、肺血栓塞栓症の発生予防に大きく貢献した。



福島県内の避難所で活躍する血管診療技師

## 〈食べ物の旬〉

品種改良や栽培技術の向上、流通システムの発達により1年中様々な食材が手に入るようになりました。便利になった反面、いつが旬なのかわからなくなっている食材も多いのではないのでしょうか？「旬」とは最も味の良い出盛りの時期を言います。

春



夏



秋



冬



## 〈旬の食材の良いところ〉

旬の食材は安価でおいしいだけでなく、栄養成分も豊富に含まれています。夏が旬のトマトは、βカロテンの含有量は旬以外では300μg程ですが、旬の時期には400～500μg程になります。冬が旬のほうれん草では、夏採れのものと比較するとビタミンCの含有量が3倍程度にもなると言われています。また、さんまやいわしなどの魚についても、旬の時期には生活習慣病予防に役立つとされるDHAやEPAが旬以外の時期の2～3倍あるとされています。

また、夏には体の熱をとるため、キュウリやスイカなど水分の多い野菜や果物が旬を迎え、冬には体を暖める根菜類が多く出回ります。日本には四季がありその季節にふさわしい食材が育ち、人間の体とも大きく関係しているのです。

## 〈バランスの良い食事〉

“バランスの良い食事”にするにはどうしたら良いのでしょうか？

いくら体に良いといわれる食品でも、体に必要な栄養素をすべて含むわけではありません。そのため、単一の食品ばかり摂取したり、偏った食事では、不足や過剰となる栄養素が出てきてしまいます。1日3度の食事を基本とし、「主食・主菜・副菜」のそろった食事を心がけることで、様々な栄養素を補うことができます。



- 主食** (ごはん、パン、めん等)  
 主な栄養素：炭水化物  
 主な働き：体を動かすエネルギー源となる
- 主菜** (肉、魚、卵、大豆製品等)  
 主な栄養素：たんぱく質、脂質  
 主な働き：骨や筋肉、血液をつくる
- 副菜** (野菜、海藻、きのこ類等)  
 主な栄養素：ビタミン、ミネラル、食物繊維  
 主な働き：体の調子を整える

旬の食材を取り入れることで、季節の変化を楽しむだけでなく、おいしく効率よく栄養を摂取することが出来ます。“旬”を上手に使い、バランスの良い食事を目指しましょう。

## 70歳を迎える方々へお知らせです

総合相談センター・がん相談支援センター

### ～医療費の自己負担の変更～

社会福祉士 岩坂 彩加

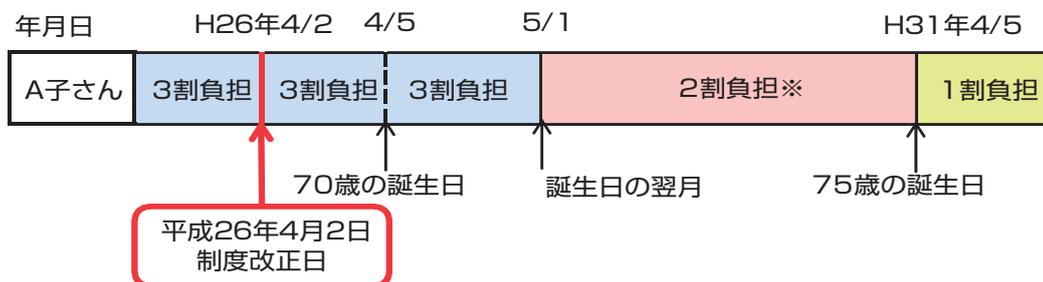
新生活が始まる季節となりました。様々な制度がこの4月より一新され、私たちの生活に関わりのある制度も対象になっています。その中から今回は70歳以上の方々の医療費の負担の変更についてお知らせします。今回の制度改正は、平成26年4月2日以降に70歳を迎える方が対象になります。

#### <A子さんの例>



今年の4月5日に70歳になります。  
いままでの医療費は3割負担でした。

この制度に該当するA子さんは、70歳の誕生日を迎えた翌月の1日から、医療費が2割負担になります。（※現役並みの所得がある方は、3割負担のままです。）



#### <B夫さんの例>



現在73歳です。  
今の医療費は1割負担です。

B夫さんのように、既に70歳を迎えている方の医療費は、従来通り1割負担で計算するようになります。（※現役並みの所得がある方は、3割負担のままです。）



#### <1か月のあたりの医療費が高額になった場合>

上記のように医療費の負担割合は変わりますが、「高額療養費制度」は従来通り利用することができます。1か月の医療費は限度額までの請求となります。住民税非課税世帯の方は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の手続きが必要です。詳しくは、病院ニュース22号をご覧ください。

#### <70歳以上の方の医療費のポイント>

- ①4月2日以降に70歳になる方  
⇒誕生日の翌月より2割負担です
- ②4月1日以前に70歳以上になっている方  
⇒変わらず1割負担です
- ①②ともに、現役並みの所得がある方は3割負担となります。

#### 相談をご希望の方は…

総合コンシェルジュ、各外来受付、病棟・外来の看護師など院内のスタッフへお声がけください。または、下記の電話番号に直接お電話ください。

<包括的がんセンター・通院治療センターにおかかりの方>  
**がん相談支援センター 042-984-4329**

<心臓病センター・脳卒中センター・救命救急センターにおかかりの方>  
**総合相談センター 042-984-4106**



これからも改善に努めてまいります。

ご意見	回答
<p>B棟4階病棟はいつも電気が消えていて暗く、足の悪い人も多くいるし、何より気分が暗くなるので電気をつけるべきではないでしょうか？病人より病院の節電を優先しているように感じます。</p>	<p>病棟の車いす用トイレ周辺の廊下の電気をつけるようにいたしました。</p>
<p>病室の冷蔵庫の扉について 冷蔵庫の扉は右側に開くようになっているが、冷蔵庫がベッドの右側にある場合は使いにくい。反対側にも直せるタイプのもので、ベッドの位置によって開く方向を変えてほしい。</p> 	<p>ご意見を頂いた患者さんのベッド脇の冷蔵庫は、早速左側に開けられるようにいたしました。その他の冷蔵庫も使いやすいよう、順次、扉を変更していくよう検討しております。</p>
<p>総合コンシェルジュの裏にある給水器に、紙コップが常備されていない。</p>	<p>給水器が目につきにくい場所にあるため、衛生管理上、紙コップは総合コンシェルジュに保管してあります。ご利用の際は総合コンシェルジュにお声がけ下さい。分かりやすくするために給水器に表示を取り付けました。</p>
<p>診察用のファイルの中に入れていたものが見にくいいため、透明なものに変更してほしい。</p> 	<p>診察用ファイルには、予約票・呼び出し機などを入れていただいております。個人情報保護のためにも、第三者からはなるべく見にくいファイルを使用しています。ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>
<p>保険証を毎回出すのは、すごく面倒くさいです。</p>	<p>診療の都度、保険証を提出することが保険診療のルールとなっています。ご理解とご協力をよろしく願いいたします。</p>

**【ご意見箱設置場所】**

総合コンシェルジュ [C棟1階]、総合コンシェルジュ裏 [C棟1階]、入退院ラウンジ [C棟1階]、外来コンシェルジュ (画像診断受付) [C棟2階]、救命救急センター受付 [B棟1階]、各病棟食堂

**【記入用紙】**

入院手続き書類に同封してあります。

各センターコンシェルジュカウンター、ご意見箱設置箇所にも記入用紙がございます。



これからも病院機能の向上及び患者サービスに努めてまいります。

ご意見ありがとうございました。



### 高血圧をまなぶ

総務課 町田 紀明

2月8日（土）、第3回市民公開講座「高血圧を学ぶ」が開催されました。未明から降り続く雪は関東各地で記録的な積雪となりましたが、「一人でも来てくれる人がいるなら開講する」と言う小山病院長の強い決意により、予定通り行われました。（写真①）

参加者数は約100名と前回、前々回に比べれば大幅な減少ですが、45年ぶりの大雪と言う悪条件にも関わらず、これだけの皆様が御出で下さった事を、大変有り難く思いました。（写真②）

今回は12：30からの「新春コンサート～癒しの三重奏～」で幕が開きました。昨年10月のフォワイエコンサートにご出演頂いた吉田直也氏（ヴァイオリン）、篠崎理恵女史（フルート）、河崎 恵女史（ピアノ）の演奏です。この新しい試みは、講演の始まる前に会場の皆様にリフレッシュして頂ければ、という想いから企画されたもので、参加の皆様からは「演奏は素晴らしく、豊かな気分で講演を聞く事ができました」「コンサートとしても充分楽しめました」などのお言葉を頂く事が出来ました。（写真③）

講演は13：30から始まりました。小山勇病院長の挨拶（写真④）に続き、今回のテーマである「高血圧」について、心臓内科の小宮山伸之教授や松本万夫教授、心臓血管外科の朝倉利久准教授が、医学的な解説や最新の治療方法の紹介、心臓リハビリテーション科の牧田茂教授による運動療法の説明、吉川八重子管理栄養士の食事療法の指導が行われまし

た。（写真⑤）

「先生方のお話を参考にして、日々の暮らしを改善して行きたい」等、講演の内容を積極的に日常生活に役立てたいと言うお言葉をアンケート用紙に多数見ることができ、改めて公開講座の意義を自覚いたしました。

又、今回も会場ロビーでは、薬や栄養、医療や福祉の相談、リハビリや医療機器の体験コーナーも設けられ、参加の皆様のお問合せにお答えする事ができました。中でも、多くの方が関心を示されたのは、血圧計や転倒予防靴下のような、家庭内ですぐに役立つものでした。これも又、公開講座と日常生活を直結させようと言う参加の皆様の、意志の表れでしょうか。（写真⑥）

悪天候のため参加できない方が多かったのは大変残念でしたが、その分、密度の濃い集いとなれたのでは、と自負しております。終了後にアンケートを集計してみたところ、「満足」「どちらかという満足」を合わせると100%となった事は、何物のも変え難い喜びです。

最後に、記録的な大雪の中、今回の講座を支えて下さった先生方、業者の皆様、係員の皆さん、そして何より、会場まで御出で下さった参加者の皆様、ありがとうございました。



写真① 思わぬ大雪に事務員総出の雪かきです。



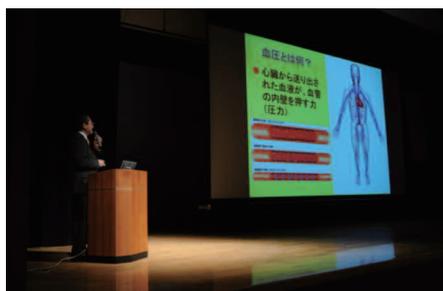
写真② 足元の悪い中、ご参加いただきありがとうございました。



写真③ 心癒される三重奏で幕が開きました。



写真④ 病院長の挨拶です。「悪天候の中のご参加、ありがとうございます。」



写真⑤ 講座は「分かり易くて面白かった」とご好評を頂きました。



写真⑥ 相談・体験コーナーも多くの参加者に立ち寄って頂きました。

## 「笑顔であいさつ」キャンペーンの集計結果です。

診療サービス委員会

標語・川柳・ポスターあります。

看護部主任会

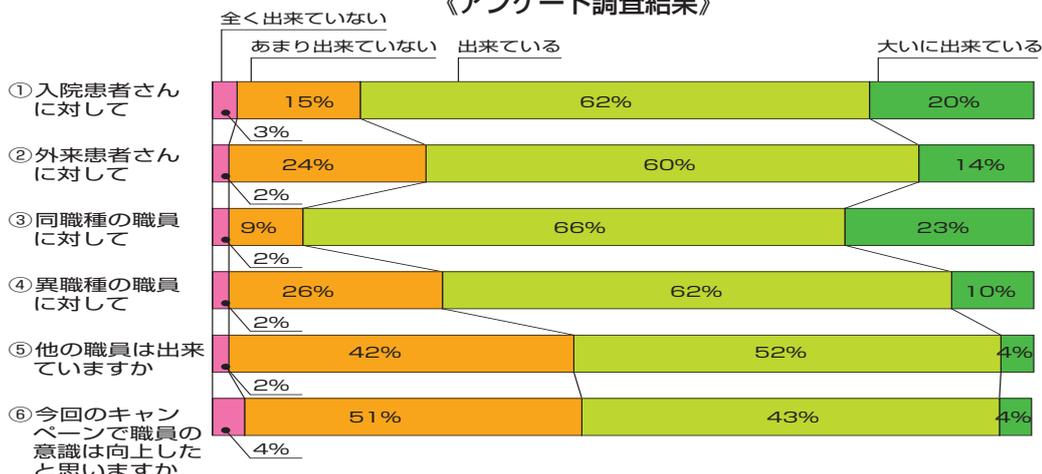
職員の接客意識の向上を目的に、診療サービス委員会・看護部主任会は昨年、「笑顔であいさつキャンペーン」を実施いたしました。担当者による啓発活動やポスターの募集、あいさつに関する意識調査（アンケート）

に留まらず、新たな試みとして、標語と川柳の公募も行いました。

この度、アンケートの集計結果と、ポスター・標語・川柳の最優秀賞が決定いたしましたので、以下にお知らせいたします。

総評：「あいさつ」に関する職員の意識が変わった45%、変わっていない55%という結果となりました。今後も、更なる意識向上を目指すために活動を続けてまいります。職員の皆様には、その他多くのご意見もいただき、ご協力誠にありがとうございました。

《アンケート調査結果》



### 【川柳】

- 「ありがとう 言える優しい心から」
- 「あいがとう あの花顔」
- 「お大事に 心休まる」
- 「優秀賞」
- 「あいさつは 誰でもできる おもてなし」
- 「最優秀賞」

### 【標語】

- ・最優秀賞
- 「こんにちは みんなが聞きたいきみの声」
- ・優秀賞
- 「挨拶と笑顔で作るコミュニケーション」
- 「挨拶は心が通じる合言葉」

### 【ポスター】

<コメント>

- ・皆さんのポーズが良い
- ・バックグラウンドの花が優しくいいですね



## 平成25年度のフォワイエコンサートです。

玄関入ればコンサート会場

総務課 千葉 恵

フォワイエコンサートは、国際医療センター玄関ロビー（フォワイエ）で定期的に行われるコンサートです。患者さんやご家族、ご面会の皆様にやすらぎのひとときを提供できれば、という想いから、平成19年4月の開院以来、続けられております。

出演は総てボランティア、今日まで開催できたのは、ご出演の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

さて、平成25年度は、以下のように開催されました。

何れの回も多くの方々に見に来て頂き、一緒に歌ったり、楽器の演奏を体験したりして、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今後のコンサートの予定は、病院ホームページのニュース&トピックスに掲載しております。途中入場や退席も自由です。皆様のご参加をお待ちしております。HPアドレス<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/> 問合せ先 国際医療センター総務課 TEL. 042-984-4128

回数	日付	出演者	演目	回数	日付	出演者	演目
第45回	5月11日	迫、肥後、滋賀の各氏	ピアノ・声楽	第50回	10月19日	河崎、吉田、篠原の各氏	ピアノ・ヴァイオリン・フルート演奏
第46回	6月22日	アミカル	オカリナ演奏	第51回	10月31日	若旅、松木両氏	ヴァイオリン・ピアノ演奏
第47回	6月29日	イ・ソリスィ・メジチ	弦楽アンサンブル	第52回	11月2日	プレイオペラ鳩山	歌劇
第48回	8月3日	コールWA	女声コーラス	第53回	12月21日	ジョイフルノイズ	ハンドベル演奏
第49回	9月28日	久保田、田中の各氏	ピアノ・声楽				

## 私の時間

## 「私の趣味、音楽とスポーツ」

15歳からチェロを始め、大学ではオーケストラや弦楽アンサンブルなども随分やりました。

チェロはバイオリンに似た形の弦楽器で、楽器の下から出ているピンを床に刺し、脚にはさんで弾く楽器です。音色はとても豊かで、人の声に最も近い音域を持つ楽器とも言われおり、原曲が歌曲をチェロで演奏することもしばしばあります。

脳神経外科医として日々時間に追われる中では、なかなか楽器を触る時間が取れませんが、少しの時間でも音楽に没頭できると気持ちが浄化されます。最近では年に一度の音楽会でチェロの合奏に参加させていただくのがやっとですが、これからも細く長く続けたいと思っています。(写真1)

もう一つの趣味であるスポーツも野球、サッカー、テニス等、これまでいろいろやりました。アメリカ留学中に始めたゴルフも随分夢中でやりました。最近では年に数回し



写真1 毎年チェロアンサンブルに参加



写真2 ゴルフから沢山のことを学びます。

かできませんが、ゴルフ仲間や大学、病院関係者などのゴルフを通じた楽しいお付き合いも、自分にとってはとても大切な時間です。

私の専門である脳血管内手術は自然を相手にするゴルフとの共通点がたくさんあります。確実なプレーをするために何が必要か、リスクをどのように回避するか、いかに集中するかなど、手術に通じるものを多く学ぶ事が出来るゴルフは、自分にとっては特別なスポーツだと感じています。

## 私の時間

## 「趣味と実益」

最近ハマッている温泉めぐりについてお話ししましょう。埼玉県人になる前は、私は愛媛県人でした。愛媛と言えば松山市にある道後温泉が有名で、夏目漱石の小説「坊ちゃん」にちなんで、坊ちゃん温泉などと呼ばれる松山市営の銭湯です。

最初に道後温泉に行った時に、温泉＝にごり湯のイメージがあり、「道後の湯は白濁した温泉なんだな?」と長い間信じていましたが、数年後に料金の高い【神の湯】に入ると、なんと湯が透明ではないですか。つまり、無味無臭の単純温泉だったのです。では「何故白濁していたのか?」この疑問はある意味でショックな形で答が分かりました。最初に入った銭湯のお湯はヒト垢で白濁していたのです。「やられた!!」といった感じでした。それ以来、全国の日帰り温泉地では、常に料金の高いほうの風呂に入るようにしています。

埼玉に移り住み、今では群馬の草津、伊香保温泉を始め、長野の温泉、神奈川の箱根温泉をめぐっております。さらに、飯能では宮沢湖、名



2013年冬 草津温泉にて

栗の温泉も近くて便利です。

みなさんは、温泉療法と呼ばれる治療があることをご存知ですか。国立の岡山大学、九州大学などには付属の温泉病院があるくらい温泉療法の効能は科学的にも研究され、実践されています。残念ながら国際医療センターにはありませんが、いつかこの敷地で温泉が出ることを夢見ています。まさに、温泉を楽しむのではなく、日頃駆使している肉体と心を癒してくれる治療は実益を伴う趣味と考えています。

温泉名 (場所)	効能
宮沢湖温泉 (埼玉県日高市)	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進
名栗温泉 (埼玉県飯能市)	神経痛、五十肩、運動麻痺等
草津温泉	神経痛、関節痛、うちみ、ねんざ、やけど、慢性消化器病、病後回復期、美肌、慢性婦人病など
伊香保温泉 黄金の湯	神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・冷感性・病後快復期・疲労回復切り傷・火傷・虚弱児童・慢性消化器病・動脈硬化症・慢性皮膚病・高血圧など
伊香保温泉 白銀の湯	病後快復期・健康増進・疲労回復

## 次回の国際医療センター市民公開講座について（お知らせ）

第4回目は「がんをもっと知ろうシリーズ②」です。 市民公開講座実行委員会

- ◆ 次回の市民公開講座は、包括的がんセンターの主催で以下の日程で行われます。皆様のご来場をお待ちしております。
- ・ 日 時：2014年 6月14日（土） PM12:00会場
- ・ 会 場：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール（日高キャンパス）埼玉県日高市山根1397-1
- ・ テーマ：「がんをもっと知ろうシリーズ②」
- ・ 問合せ：市民公開講座実行委員会TEL：042-984-4638

### ♥ プログラム

- ・ 「初夏のコンサート」（予定）12:15～
- ・ 「開会のことば 病院長挨拶」13:30～
- ・ 講演13:40～  
（「咽頭・食道がんについて」の予定）
- ・ 「閉会のことば」 15:50～



- ◆ 相談コーナー 12:00～16:30
  - 1) お薬相談コーナー
  - 2) 看護相談  
医療相談コーナー
  - 3) 栄養相談コーナー
  - 4) リハビリ相談コーナー
  - 5) 医療機器体験コーナー
- ◆ 予約は不要、参加は無料です！  
お気軽にお立ち寄り下さい。

※写真下  
第2回公開講座  
医療機器体験コーナーより  
血圧計の使い方の説明



## 面会について



【面会時間】

**（平日） 午後1時～午後8時**

**（土・日・祭日） 午前11時～午後8時**

上記時間以外のご面会はお断りしております。

【面会受付】C棟1階総合コンシェルジュにて受付をし、面会証をお受け取り下さい。

- \* アレルギーや香りに敏感な患者さんもいらっしゃいますので、お花はご遠慮下さい。
- \* 小学生以下（12歳未満）のお子様の面会をご遠慮いただいております。

### 編集後記

今号の診療科紹介のページの「Rapid response car」は、「緊急応答車両」という訳がついていますが、これは正式な名称・呼称というわけではありません。当初は「緊急車両」でしたが、英単語が三つなのに漢字熟語が二つなのは何か違和感があるので、「response」に「反応、対応」の意味がある事から「攻めの医療」を目指すドクターカーの性格も考慮して、「即応」の語を入れて見ました。大学によっては「病院救急車」と表現する所もあり、今後どのような名称・呼称が普及するのか、興味のあるところです。30年前までは、「マニュアル」という言葉はまだ一般的ではなく、TVのニュースでもSFアニメでも「手引書」と言っていました。ごく普通に「即応車」と言われたい様になると、嬉しいですね。

総務課 編集担当 征矢野 忍

◎「表紙写真：川井信孝（造血管腫瘍科准教授）撮影」

## 紹介・予約制について

当センターは紹介・予約制です

【外来予約センター】（8:30～17:00）

☎042-984-0474 ☎042-984-0475

- \* がんセンター受診の際には紹介状をお持ち下さい。
- \* 平成25年4月1日より、当院ホームページからがん診療についてインターネットでの予約を開始致しました。医療機関からはもちろん、患者さんや御家族がご自宅から予約可能となります。ご活用ください！  
詳しくは、埼玉医科大学国際医療センターHPをご覧ください。  
<https://www2.saitama-med.ac.jp/simc/yoyaku/index.php>

埼玉医科大学国際医療センターニュース  
April 2014 第28号【院内配布用】

編集・発行 埼玉医科大学国際医療センター総務課

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1  
TEL：042-984-4128

発行責任者 小山 勇

発行日 平成26年4月15日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。

## 看護師募集中

学校法人 埼玉医科大学



### 看護師募集中！！

最も環境の整った大学病院で、

地域に密着した高度な医療に貢献しませんか。

※病院見学、インターンシップ、いつでも大歓迎!! Facebookも更新してます!  
詳しくはQRコードより

看護師求人ホームページ <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/nurse>

看護部 Facebook ページ <https://www.facebook.com/smu.nurse>

埼玉医科大学 総務部 人事課

☎ 0120-61-1181

TEL: 携帯の方 049-276-1115

SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY